

栃木労働局発表
平成23年7月1日

担 当	栃木労働局 労働基準部 健康安全課	
	健康安全課長	長田賢治
	主任労働衛生専門官	五十嵐理夫
	主任安全専門官	飯野 稔
	電話 028-634-9117	

職場における熱中症予防対策について ～ 熱中症予防等のための建設現場緊急パトロールの実施 ～

昨年は、猛暑の影響により、職場における熱中症による死亡者数は47人(栃木県内では1人)にのぼり、前年の8人(栃木県内では0人)から大幅に増加しました。今年、東日本大震災に伴う夏期の電力需給対策により、節電対策が実施される中、各事業場がどのような熱中症予防対策を講じているか、栃木県内の製造業及び建設業各250社、計500社(うち232社から回答)に自主点検を実施しました。

自主点検の結果、ほとんどの事業場は、水分等の摂取を励行するなどの対策を講じているものの、WBGT値※(暑さ指数)を活用している(製造業で7.0%、建設業で5.9%)、及び、熱への順化期間を設けている(製造業で2.6%、建設業で1.7%)事業場は少なく、また、熱中症に関する労働衛生教育を実施している事業場は半数以下に留まっていた(製造業で33.3%、建設業で46.6%)。

さらに、救急処置の実施状況について、近隣の病院等の連絡先等の緊急連絡網を作成し周知している事業場は半数以上ある(製造業で60.5%、建設業で71.2%)が、熱中症の症状が現れた場合、一刻を争うことがあるので、日頃から直ちに事業場内で救急措置がとれるようにしておくことが望まれる。

栃木労働局及び各労働基準監督署では、このような自主点検結果を踏まえ、暑さが続くこれからの時期を前に、各事業者に対して、個別指導や集団説明会等により適切な熱中症予防対策を呼びかけるとともに、平成23年7月6日に、熱中症予防対策を重点とする建設現場における緊急パトロールを公開実施することとしました。

※ WBGT値とは、別添資料の(※2)のとおり、暑熱環境による熱ストレスの評価を行う暑さ指数で、乾球温度・自然湿球温度・黒球温度から算出する数値のことです。

自主点検の結果は、別添「熱中症対策等自主点検実施結果」のとおりです。

熱中症対策等自主点検における好事例事業場、緊急パトロールの日程を裏面に掲載してあります。

1. 職場における熱中症等予防対策の好事例

(1) 製造業

那須塩原市にある製造工場では、節電目標達成割合を前年比15%削減と定め、設備や配管等からのエアリークの補修を行い、休憩時には機械の電源を停止している。

予防対策としては、専用測定機器を使用して作業工程毎にWBGT値を測定し、一定温度以上に達したときは、熱中症予防のための場内放送を実施して注意喚起するなど、WBGT値を活用するとともに、WBGT値を低減するため、排気及び吸気ファンの増設と気流ファンを新たに設置して熱気の滞留の防止を図っている。

(2) 建設業

宇都宮市にある電気設備工事業の事業所では、節電目標達成割合を前年比20%削減と定めて節電対策を行っている。

予防対策としては、専用測定機器を使用してWBGT値を測定しているほか、本社から配信されるメールにより、個々の労働者へ熱中症予防対策について情報提供をしている。また、「熱中症予防のため寝不足に注意しましょう！」などというポケットサイズのワンポイントカードを各労働者に配付するとともに、朝礼時などに注意喚起を行っている。

2. 熱中症予防等のための建設現場緊急パトロール（公開）の日程等について

(1) 実施日時について

平成23年7月6日(水)10:00～11:00

(2) 公開現場について

工事名：(仮称) ビッグ・ビー宇都宮駅東口第2ビル新築工事

所在地：栃木県宇都宮市東宿郷1-6-1 (案内地図参照)

施工者：清水建設(株)

※ 取材を希望される場合は注意事項がありますので、電話連絡してください。

連絡先： 栃木労働局労働基準部健康安全課 担当：飯野 電話(028-634-9117)